

CSR 活動 2019



S.P.E.C.株式会社



目次

1.S.P.E.C.について.....	1
1.1 基本理念.....	1
1.2 会社概要.....	1
1.3 埋立処分ゼロを目指して	2
2.CSR 基本方針	3
3.組織統治	4
4.人権	4
4.1 差別防止・パワハラ防止.....	4
5.労働慣行	5
5.1 安全・衛生	5
6.環境	5
6.1 環境影響評価	5
6.2 ISO14001	6
6.3 省エネ・CO ₂ 削減.....	7
6.4 環境モニタリング	7
6.5 教育訓練	8
7.情報セキュリティ.....	8
8.コミュニティ参画.....	8

【編集にあたって】

2017年6月に工場稼働を開始した S.P.E.C.では、更なる社会的責任を担うべく2019年1月に CSR 室が発足しました。本報告は2019年1月より1年間の CSR 活動概要をまとめたものです。皆様に S.P.E.C.の CSR 活動をご理解いただけるよう情報開示を推進して参ります。



S.P.E.C. エコレ城南島

1.S.P.E.C.について

1.1 基本理念

当社は、地球環境問題を経営の最重要課題の一つとして共通認識し、事業活動における環境負荷の軽減に努め、環境に配慮した企業活動を行うことを基本理念とする。

1.2 会社概要

工場概要	運営会社
名称 エコレ城南島	会社名 S.P.E.C.株式会社 (スペック)
工場長 佐々木 浩志(ささき ひろし)	代表者 深江 伯史 (ふかえ のりちか)
CSR室長 大波 雅之(おおなみ まさゆき)	住所 〒143-0002
住所 〒143-0002	東京都大田区城南島3丁目2番8号
敷地面積 8,947.17㎡	T E L 03-5755-9884
建物面積 4,040.34㎡	F A X 03-5755-9132
延べ床面積 5,432.22㎡	U R L http://www.ecore.tokyo
業務内容 産業廃棄物処理事業、汚染土壌処理事業	資本金 5億円
	出資会社 シグマテック株式会社 株式会社サン・ビック 麻生商事株式会社

グループ会社

会社名 シグマテック株式会社	会社名 シグマジオテック株式会社
代表者 深江 伯史	代表者 石山 直樹
住所 〒103-0006	試験所 〒143-0002
東京都中央区日本橋富沢町5番4号	東京都大田区城南島3丁目2番8号
T E L 03-5651-2201	T E L 03-5755-9865
F A X 03-5651-2202	F A X 03-5755-9129

産業廃棄物処理事業の許可内容

品目	燃え殻、汚泥、鉍さい、ばいじん、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上13品目
処理方法	●破砕選別 1,920 t/日 ●脱水(洗浄処理後のものに限る) 720 t/日 ●脱水(洗浄処理後のものに限る) 480 t/日 ●混練・不溶化 960 t/日

汚染土壌処理事業の許可内容

取扱物質	第一種特定有害物質(有機塩素化合物) ※上限なし 第二種特定有害物質(重金属類) ※上限なし 第三種特定有害物質(農薬類)※PCBは除く ※上限なし ※別途、ダイオキシン類(3ng-TEQ/g以下)
処理方法	浄化等処理 ●洗浄処理(30t×24h+20t×24h) 1,200 t/日 ●化学的処理(抽出熱脱着) 960 t/日 ●不溶化処理 960 t/日 分別等処理 1,920 t/日

※2019年12月現在

1.3 埋立処分ゼロを目指して

東京都スーパーエコタウンプロジェクトに参画し建設した中間処理施設「エコレ城南島」は、これまでリサイクル不可能として埋立処分されてきた産業廃棄物や汚染土壌に適切な前処理を行い、リサイクル可能な資源として生まれ変わらせることを最大の目的としています。

また「エコレ城南島」は産業廃棄物処分業と汚染土壌処理業の両方の許可を取得することにより、多種多様な廃棄物と土砂が混在した埋設廃棄物が処理可能なだけでなく、土砂(土壌)が汚染されていた場合にも処理することが可能です。

「すべての廃棄物は資源になり得る」と考え、3R 活動の一環として産業廃棄物や汚染土壌にリサイクルを目的とした処理を行うことで社会全体の廃棄物のリデュースに寄与し、この地球を次世代に引き継いでゆく責任を果たすと共に循環型社会形成の一翼を担って参ります。



2.CSR 基本方針

「エコレ城南島」は、東京都条例による環境影響評価を実施しており、環境保全活動にも力を入れて参りました。工場稼働の開始から2年目となる2019年の1月、さらなる社会的責任を担うべくCSR室が設置されました。

CSR室では、「CSR基本方針」に基づき、持続可能な社会で持続可能な企業を目指しCSR活動を推進しています。

CSR 基本方針

当社は、循環型社会形成の一翼を担う企業として、社会的責任を尊重し、社会、環境、法令、文化等の多様性を考慮し、持続可能な社会の形成に寄与することをCSR基本方針とします。

1. 組織統治

当社は、社会的責任を果たすため、組織における職務権限・責任を明確にし、組織統治を重んじた事業活動を行います。

2. 人権

当社は、働くすべての人の人権を尊重し、ハラスメントを防止し、立場・年齢・性別・人種・国籍・文化・宗教等あらゆる差別を排除します。

3. 労働慣行

当社は、労働基準法及び労働安全衛生法を遵守し、働くすべての人に安全で健康な職場を提供し、維持・改善するよう労働環境の向上を図ります。

4. 環境

当社は、ISO14001の活動を推進し、東京都スーパーエコタウン事業の趣旨に則したりサイクル事業を推進し、継続的に常に高いレベルでの環境保全活動を行います。

5. 公正な事業慣行

当社は、倫理的な行動のもと、贈収賄・汚職を防止し、誤った情報、不当表示、威嚇また強制を伴う活動を禁止し、公平・公正で透明性のある事業活動を守ります。

6. 顧客その他利害関係者に関する課題

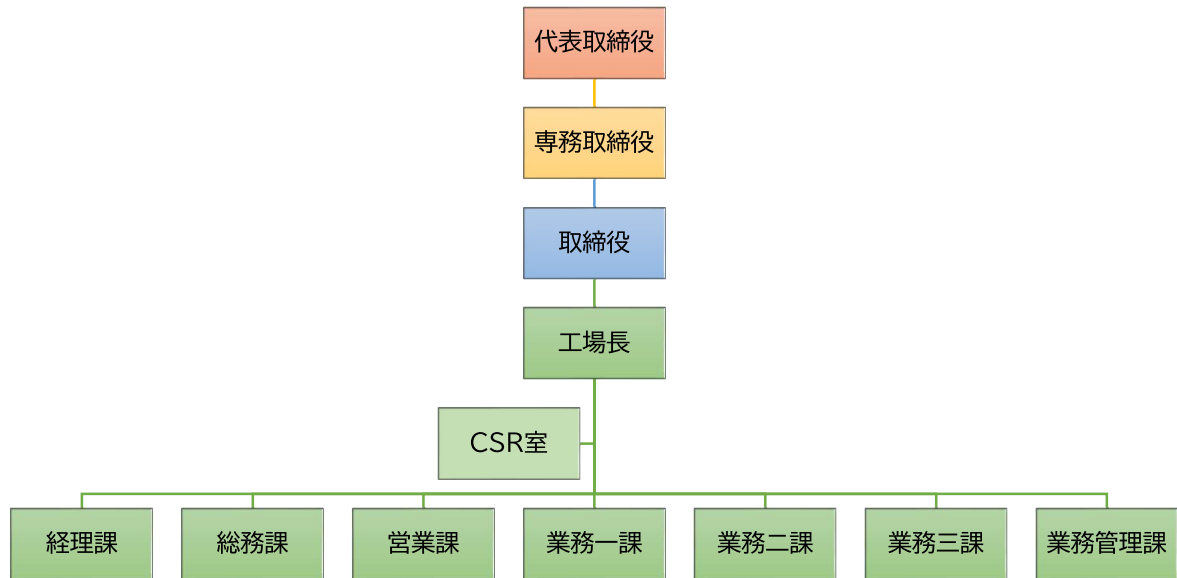
当社は、顧客その他利害関係者の要望に応え、積極的な情報公開、見学者の受入、業務改善その他研究開発を継続的に行い、持続可能な社会の形成に貢献します。

7. コミュニティ参画

当社は、東京都スーパーエコタウン事業の1企業として、地域行事に積極的に参加し、地域社会での協調関係・信頼関係を築く活動を推進します。

3.組織統治

S.P.E.C.は以下の組織で運営しています。CSR 室では組織統治を重んじた事業活動の推進や円滑な事業活動のサポートに努めています。



※2019年1月現在

S.P.E.C.株式会社 組織図

4.人権

4.1 差別防止・パワハラ防止

S.P.E.C.では、人権を尊重する活動として、人種、国籍、性別やLGBT等による差別防止、ハラスメント防止活動を行っています。

2019年は労働施策総合推進法の改正に伴い、パワハラ対策の法制化講習会を行いました。「被害者にならないこと！加害者にならないこと！」をスローガンに、パワハラ対策について就業規則に盛り込み、年1回のアンケート調査、社内方針の明確化、周知・啓発活動、苦情などに対する体制の整備、相談窓口の設置、被害を受けた労働者へのケアや再発防止体制の整備を行っています。



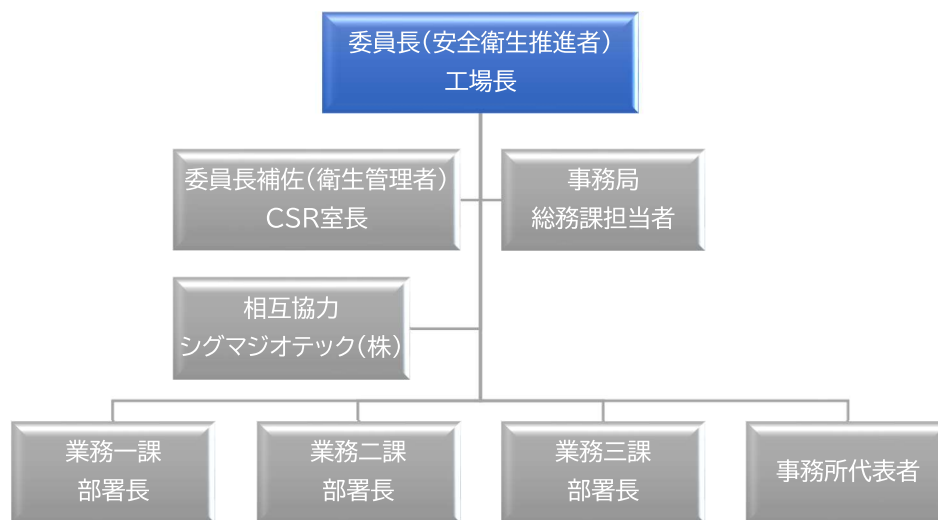
パワハラ対策講習会

5.労働慣行

5.1 安全・衛生

S.P.E.C.では、朝礼時のKY・ヒヤリハット、毎月開催している安全衛生推進委員会、グループ企業であるシグマジオテック(株)による作業環境測定、WBGT 監視による熱中症対策、化学物質リスクアセスメント等の労災防止活動を行っています。

S.P.E.C.では負傷等により4日以上休業する労働災害は創業当初より起きていません。



※2019年4月現在

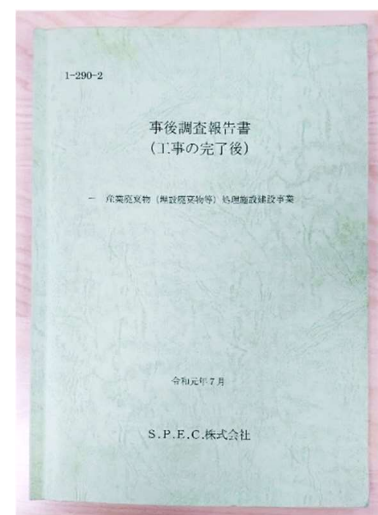
安全衛生推進委員会

6.環境

6.1 環境影響評価

環境影響評価とは、大規模な開発事業などを実施する際に、事業者が、あらかじめその事業が環境に与える影響を予測・評価し、住民や関係自治体などの意見を聴くとともに専門的立場からその内容を審査することにより、適正な環境配慮がなされるようにするための一連の手続き制度をいいます。

「エコレ城南島」は東京都条例による環境影響評価の対象事業に該当し、2011年に調査計画書の提出より手続きが開始され、2019年7月に、「産業廃棄物(埋設廃棄物等)処理施設建設事業 事後調査報告書(工事の完了後)」を東京都環境局へ提出し、一連の環境影響評価の手続きが終了いたしました。

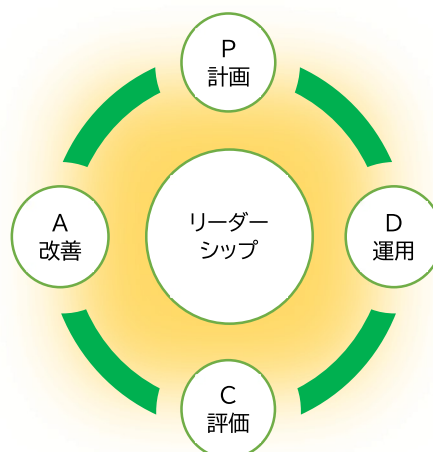


事後調査報告書
(工事の完了後)

6.2 ISO14001

S.P.E.C.では産業廃棄物処分量と汚染土壌処理業の2つの事業を実施し、事業そのものが環境に深くかかわっていることから、創業当初からISO14001 認証を取得し、業務と一体となり環境保全に積極的に取り組んでいます。

ISO14001 の取組では、法令順守はもちろんのこと、リサイクル化の推進、省エネ対策、従業員の力量向上といった環境目標や課題について、PDCA サイクルにより、さらなる改善へと取り組んでいます。



PDCA サイクル

環境方針

当社は、汚染土壌・廃棄物の処理事業を通じ、汚染土壌・廃棄物のリサイクル技術の向上を目指し、基本理念である地球環境問題解決のために、次の施策を実施致します。

- 1 当社の事業活動、製品・サービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めると共に、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
- 2 環境に関わる法規制や、当社が受入れた利害関係者からの要求事項を遵守すると共に、環境保全の継続的改善を図る。
- 3 当社が行う事業活動、製品・サービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマ(目的・目標)として改善活動を推進する。
 - ①受入れた汚染土壌・廃棄物のリサイクル率向上を目指し天然資源の枯渇の抑制に貢献する。
 - ②各種設備、車両等に使用する燃料や電気エネルギーの削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇の抑制に努める。
 - ③工場内環境保全の質的向上を図り、汚染の予防と環境の向上に努める。
 - ④汚染土壌処理技術及び廃棄物処理技術の実質的向上に努める。
 - ⑤各種業務効率の改善により省資源・省エネを図る。

6.3 省エネ・CO₂削減

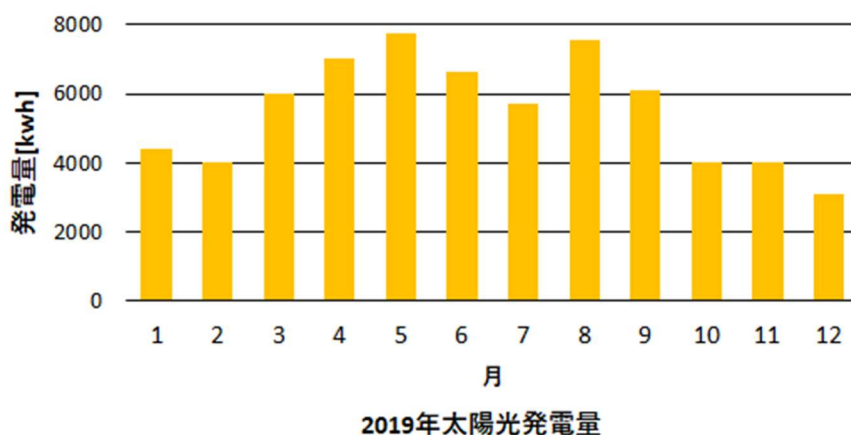
S.P.E.C.では太陽光発電により省エネ・CO₂削減に取り組んでいます。2019年1月～12月の太陽光発電による温室効果ガス(CO₂)削減量は32.3t-CO₂/年でした。

また、エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)に準じたエネルギー原単位のモニタリングを行っています。2019年は1.96kWh/t(うち電力45.8%、ガソリン1.8%、軽油52.4%)でした。

太陽光発電によるCO₂削減量

太陽光発電量 [kWh]	原単位 [t-CO ₂ /kwh]	CO ₂ 削減量 [t-CO ₂ /年]
66070.2	0.000489	32.3

参考「総量削減義務と排出取引制度における特定温室効果ガス排出量算定ガイドライン」(2018年)



6.4 環境モニタリング

S.P.E.C.では毎年アスベスト、騒音、振動、地下水、集じん機排ガスの測定を行っています。2019年の測定結果概要は以下のとおりです。

環境モニタリング結果概要

項目	測定地点	測定結果概要
アスベスト	敷地境界 4地点	全地点で検出されませんでした。
騒音・振動	敷地境界 4地点	騒音レベルは全地点で55～70dB、振動レベルは全地点で30～49dBでした。すべて自主基準値(騒音レベル70dB・振動レベル65dB)以下でした。
地下水 (環境基準項目及び 土壤汚染対策法地下 水項目)	敷地隅角 4地点	鉛、砒素、クロロエチレン、ベンゼン、セレン、ふっ素及びほう素が検出されました。検出された項目のうち、ふっ素は4地点中3地点で環境基準(0.8mg/L)を上回りました。ほう素は4地点中1地点で環境基準(1mg/L)を上回りました。その他の項目はすべて環境基準以下又は土壤汚染対策法地下水基準以下でした。 ふっ素及びほう素は工場開設前の調査でも同様な傾向で確認されていることから、海水由来または埋め土由来のものと考えられます。
集じん機排ガス (土壤汚染対策法処 理省令第5条第20 号)	排出口 1箇所	窒素酸化物、塩化水素及びPCB※が検出されましたが、すべて許容限度以下でした。なお、本施設は燃焼ガスは排出していません。 ※PCBの許容限度：PCB等を焼却処分する場合における排ガス中のPCB暫定排出許容限界について(昭和47年12月環境庁通知、環大企141号)

6.5 教育訓練

S.P.E.C.では社員の力量向上・教育訓練の一環として資格取得を推奨しています。2019年の環境保全系資格では、公害防止管理者(水質第1種)に1名が合格しました。

現在の環境保全系資格者数は以下のとおりです。

環境保全系資格者数

- ・ 産業廃棄物技術管理士：中間処理1名、破碎・リサイクル2名
- ・ 環境計量士：濃度1名、騒音・振動1名
- ・ 公害防止管理者：大気第1種2名、水質第1種3名、ダイオキシン類1名、騒音・振動1名
- ・ 東京都公害防止管理者：第1種3名
- ・ 臭気判定士

※2019年12月現在

7.情報セキュリティ

S.P.E.C.では、産業廃棄物管理票の電子化(電子マニフェスト)の推進、ITシステム化による業務の効率化を図っています。

ITシステムには情報セキュリティ対策も重要な課題です。

S.P.E.C.では、「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」(IPA独立行政法人情報処理推進機構)を活用し、情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度「SECURITY ACTION」に自主的に取り組んでいます。

情報セキュリティ5か条

1. OSやソフトウェアは常に最新の状態にしよう！
2. ウイルス対策ソフトを導入しよう！
3. パスワードを強化しよう！
4. 共有設定を見直そう！
5. 脅威や攻撃の手口を知ろう！

出典：IPA独立行政法人情報処理推進機構 HP

8.コミュニティ参画

創業当初から参加しているビーチクリーンアップ in 城南島に2019年も参加しました。城南島スーパーエコタウン協議会の一員として、近隣の方々と城南島海浜公園の清掃活動を行いました。



ビーチクリーンアップ in 城南島



CSR 活動 2019

S.P.E.C.株式会社

〒143-0002

東京都大田区城南島 3 丁目 2 番 8 号

TEL:03-5755-9884

FAX:03-5755-9132

<http://www.ecore.tokyo/>